

5 働き方改革

実現会議が初会合——九つのテーマで議論

政府は9月27日、安倍晋三首相を議長に、「働き方改革実現会議」の初会合を開いた。同会議で議論するテーマは①同一労働同一賃金など非正規雇用の処遇改善②賃金引き上げと労働生産性の向上③時間外労働の上限規制の在り方など長時間労働の是正④雇用吸収力の高い産業への転職・再就職支援、人材育成、格差を固定化させない教育の問題⑤テレワーク、副業・兼業などの柔軟な働き方⑥働き方に中立的な社会保障制度・税制など女性・若者が活躍しやすい環境整備⑦高齢者の就業促進⑧病気の治療、子育て・介護と仕事の両立⑨外国人材の受け入れの問題など。政府は、「働き方改革」を構造改革の柱と位置づけており、年度内に、具体的な実行計画を取りまとめて、関連法案の整備を進める考えだ。

働く人により良い将来展望を／安倍首相

安倍首相はあいさつの中で「『働き方改革』は第三の矢、構造改革の柱となる改革。大切なことはスピードと実行であり、もはや、先送りは許されない。必ずやり遂げるという強い意志を持って取り組んでいかなければならない」と訴えて、改革実現の決意を表明。「『働き方改革』のポイントは、働く人により良い将来の展望を持ってもらうこと。同一労働同一賃金を実現し、正規と非正規の労働者の格差を埋め、若者が将来に明るい希望が持てるようにしなければならない。中間層が厚みを増し、より多く消費し、より多くが家庭を持てるようにすれば日本の出生率は改善していく」「長時間労働を是

正すれば、ワーク・ライフ・バランスが改善し、女性、高齢者が仕事に就きやすくなる。経営者は、どのように働いてもらうかに関心を高め、労働生産性が向上していく。『働き方改革』こそが労働生産性を改善するための最良の手段だ」などと述べ、様々な社会問題の解決のために「働き方改革」が必要不可欠だと強調した。

非正規雇用の待遇改善や長時間労働の是正を

同会議は、「一億総活躍国民会議」での議論を引き継ぐもの。6月に閣議決定した「ニッポン一億総活躍プラン」では、「働き方改革」について「一億総活躍社会実現に向けた横断的課題」としており、①同一労働同一賃金の実現など非正規雇用の待遇改善②長時間労働の是正③高齢者の就労促進の一の実現を盛り込んでいる。非正規雇用の待遇改善については、「同一労働同一賃金の実現に向け、どのような待遇差が合理的であるか、または不合理であるかを事例等で示すガイドラインを策定する」「最低賃金を年率3%程度をめぐりに引き上げ、全国加重平均1,000円を目指す」などの具体策を提起。長時間労働の是正については、「長時間労働の是正は、労働の質を高め、多様なライフスタイルを可能にし、ひいては生産性の向上につながる」として、「親事業者の下請代金法、独占禁止法違反が疑われる場合に、中小企業庁や公正取引委員会に通報する制度を構築する」「労使で合意すれば上限なく時間外労働が認められる36協定を再検討する」などの考えを示している。高齢

者の就労促進については、「継続雇用や定年年齢の引き上げを進めるため、企業の自発的な取り組みが広がるよう、65歳以上の継続雇用や定年年齢引き上げを行う企業に対する支援を実施する」などとしている。

「働き方改革実現会議」の議員は以下の通り。

▶議長＝安倍晋三・内閣総理大臣、▶議長代理＝加藤勝信・働き方改革担当大臣、塩崎恭久・厚生労働大臣、▶議員＝麻生太郎・副総理兼財務大臣、菅義偉・内閣官房長官、石原伸晃・経済再生担当大臣兼内閣府特命担当大臣（経済財政政策）、松野博一・文部科学大臣、世耕弘成・経済産業大臣、石井啓一・国土交通大臣、▶有識者議員＝生稲晃子・女優、岩村正彦・東京大学大学院法学政治学研究科教授、大村功作・全国中小企業団体中央会会長、岡崎瑞穂・株式会社オーザック専務取締役、金丸恭文・フューチャー株式会社代表取締役会長兼社長グループCEO、神津里季生・日本労働組合総連合会会長、榊原定征・日本経済団体連合会会長、白河桃子・相模女子大学客員教授・少子化ジャーナリスト、新屋和代・株式会社りそなホールディングス執行役・人材サービス部長、高橋進・株式会社日本総合研究所理事長、武田洋子・株式会社三菱総合研究所政策・経済研究センター副センター長・チーフエコノミスト、田中弘樹・株式会社イトーヨーカ堂人事室総括マネージャー、樋口美雄・慶應義塾大学商学部教授、水町勇一郎・東京大学社会科学研究所教授、三村明夫・日本商工会議所会頭（調査・解析部）